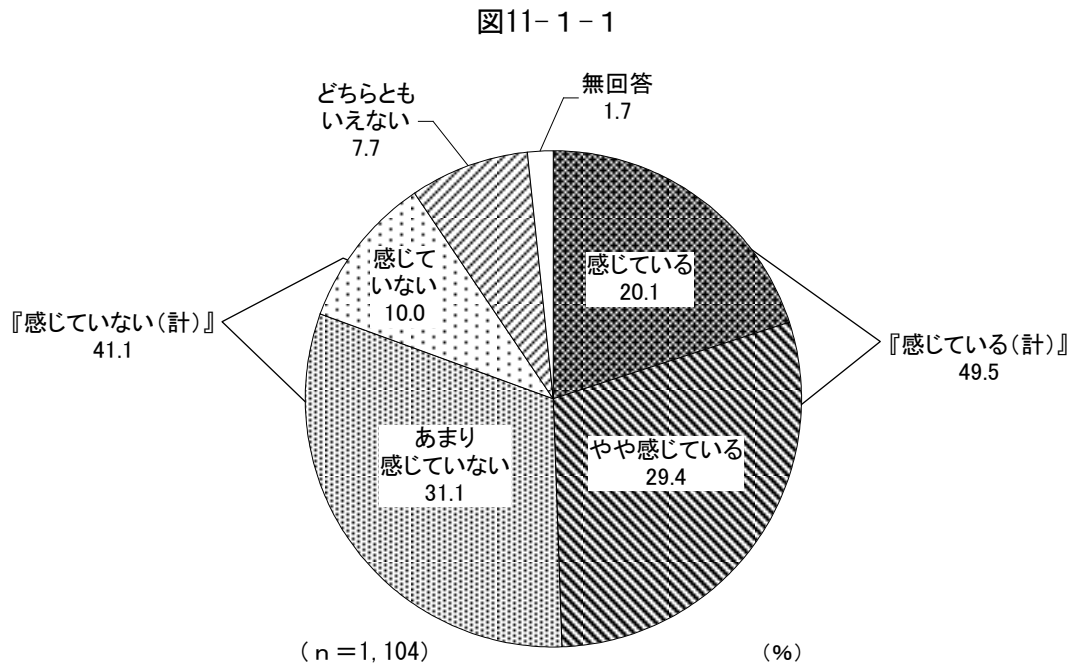


11. 大田区の観光

(1) 大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか

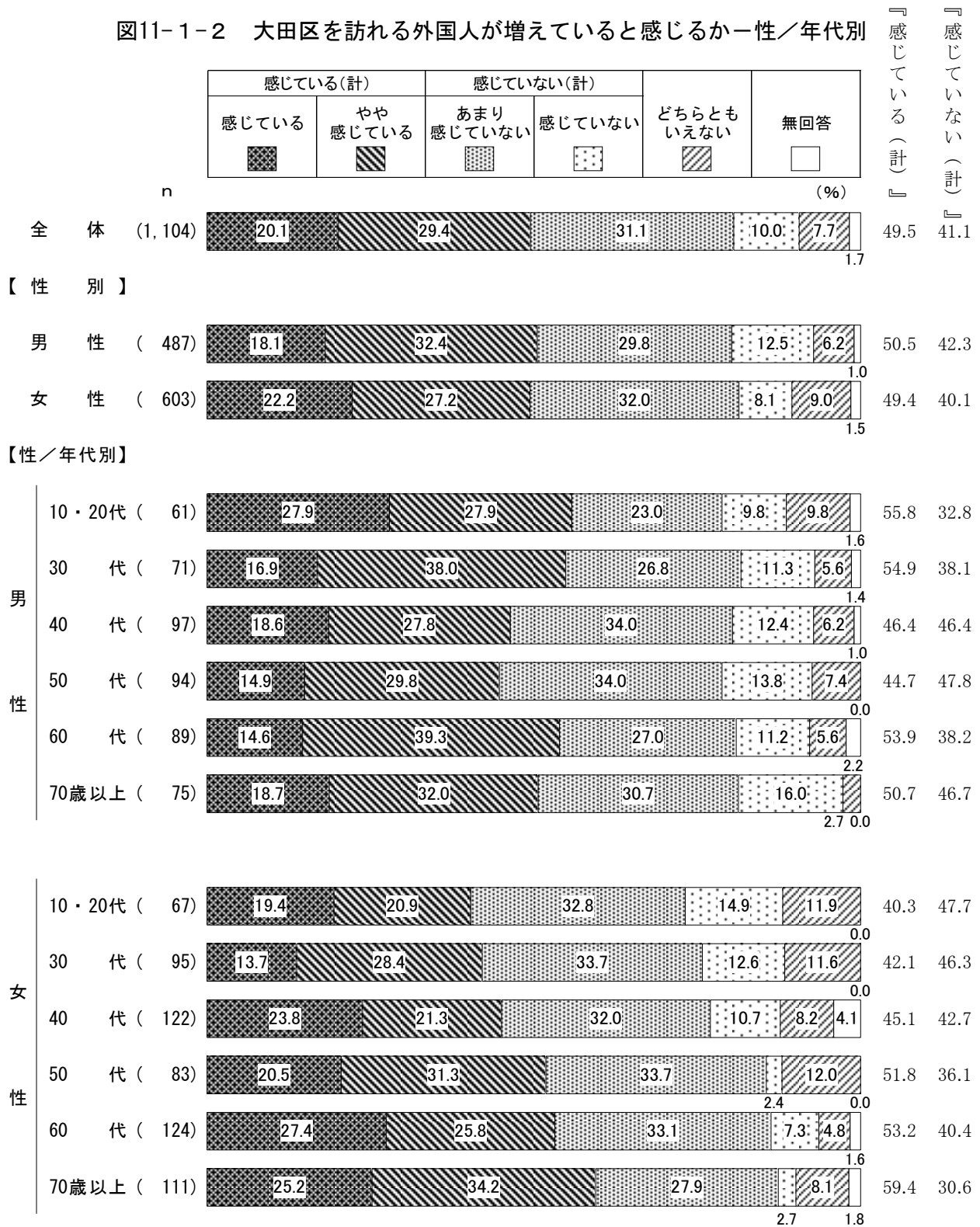
◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は5割

問18 大田区を訪れる外国人が増えていると感じますか。(○は1つだけ)



大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか聞いたところ、「感じている」(20.1%)と「やや感じている」(29.4%)を合わせた『感じている(計)』(49.5%)は5割となっている。一方、「あまり感じていない」(31.1%)と「感じていない」(10.0%)を合わせた『感じていない(計)』(41.1%)は4割を超えている。(図11-1-1)

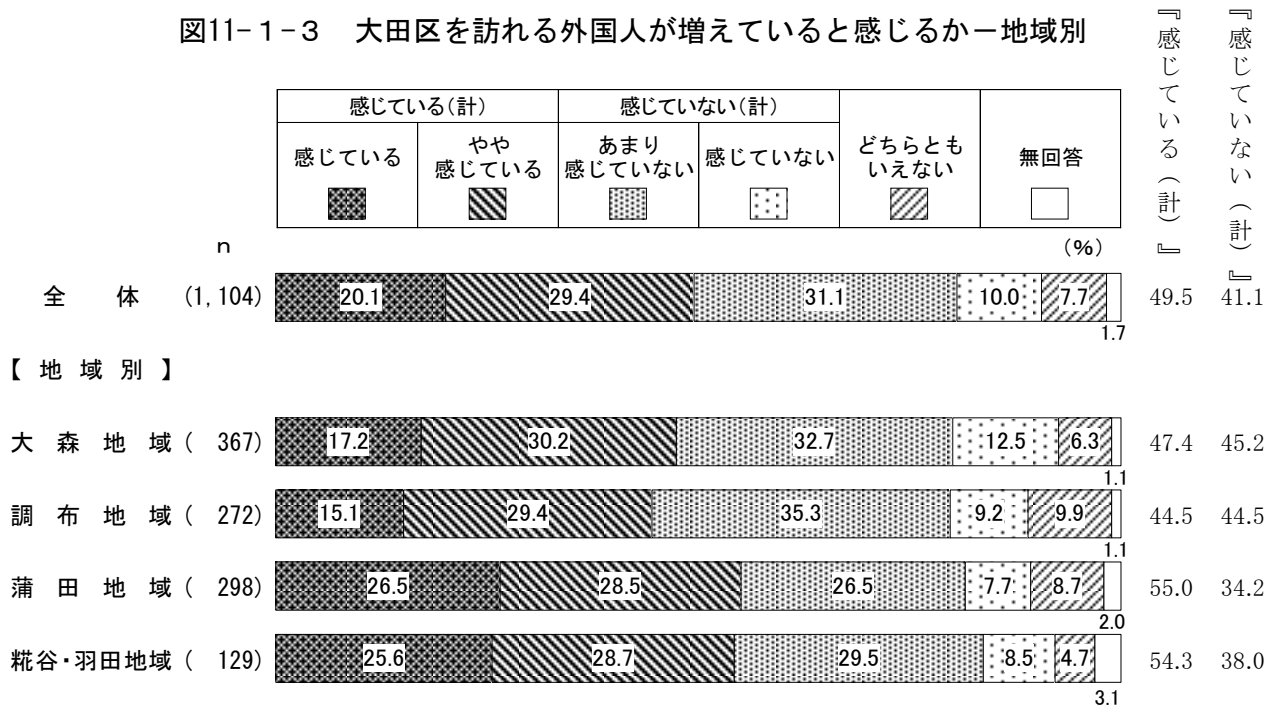
図11-1-2 大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか—性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は女性70歳以上(59.4%)で約6割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性50代(47.8%)と男性70歳以上(46.7%)、女性10・20代(47.7%)で5割近くと高くなっている。(図11-1-2)

図11-1-3 大田区を訪れる外国人が増えていると感じるか—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(55.0%)と糀谷・羽田地域(54.3%)で5割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は大森地域(45.2%)と調布地域(44.5%)で4割半ばと高くなっている。(図11-1-3)

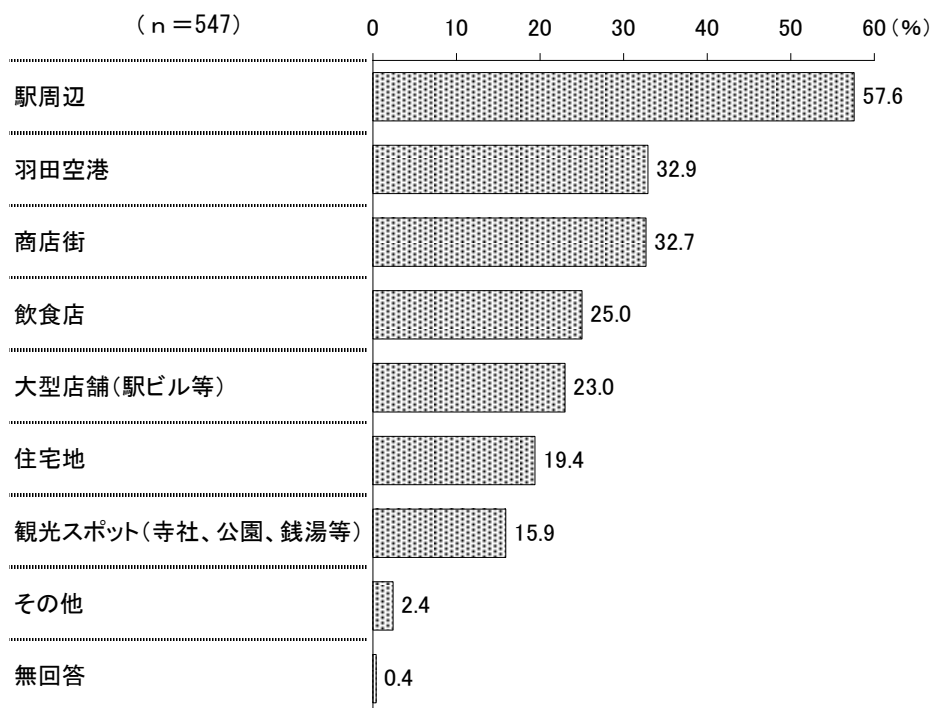
(2) 外国人が増えていると感じる場所

◇「駅周辺」が6割近く

(問18で、「感じている」「やや感じている」と回答した方に)

問18-1 どのような場所で感じますか。(〇はいくつでも)

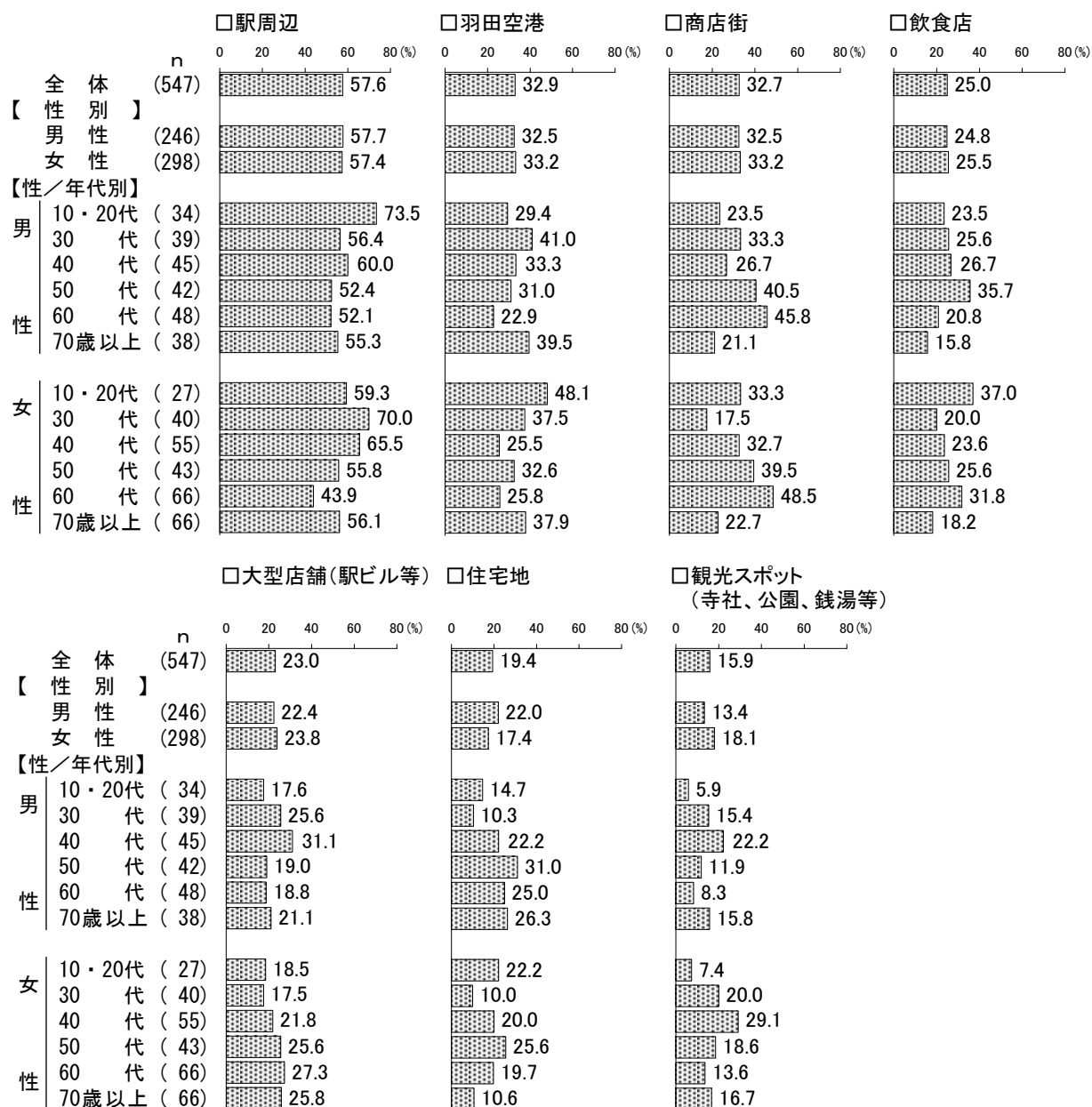
図11-2-1



大田区を訪れる外国人が増えていると「感じている」、「やや感じている」と答えた人(547人)に、どのような場所でそう感じるか聞いたところ、「駅周辺」(57.6%)が6割近くで最も高く、次いで「羽田空港」(32.9%)、「商店街」(32.7%)、「飲食店」(25.0%)、「大型店舗(駅ビル等)」(23.0%)などの順となっている。

「その他」への回答として、「公共交通機関の車内」、「外国人居住者が周辺に増えた」、「学校で留学生が増えた」などがあげられている。(図11-2-1)

図11-2-2 外国人が増えていると感じる場所—性／年代別

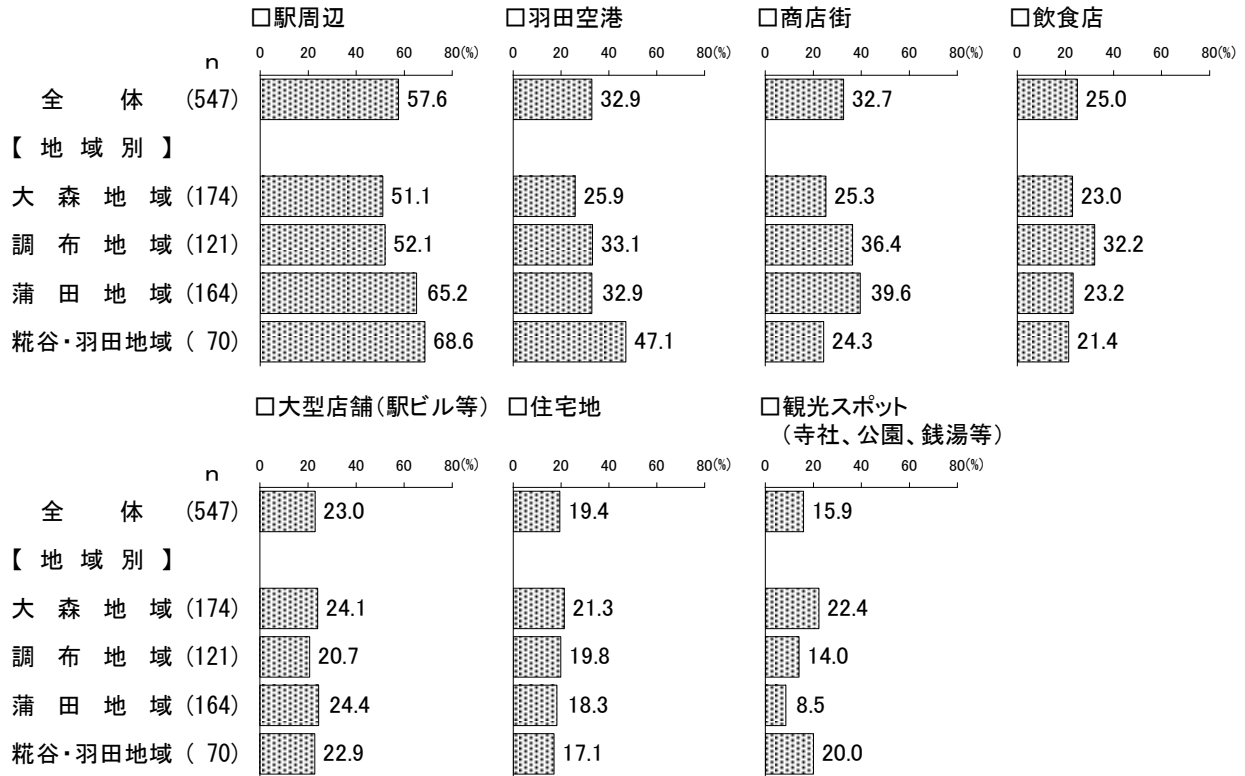


性別でみると、「観光スポット（寺社、公園、銭湯等）」は女性（18.1%）が男性（13.4%）より4.7ポイント高くなっている。「住宅地」は男性（22.0%）が女性（17.4%）より4.6ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「駅周辺」は男性10・20代（73.5%）で7割を超えて高くなっている。「羽田空港」は女性10・20代（48.1%）で5割近くと高くなっている。「商店街」は女性60代（48.5%）で5割近くと高くなっている。「飲食店」は女性10・20代（37.0%）で4割近くと高くなっている。

(図11-2-2)

図11-2-3 外国人が増えていると感じる場所—地域別



地域別でみると、「駅周辺」は糀谷・羽田地域（68.6%）で7割近くと高くなっている。「羽田空港」は糀谷・羽田地域（47.1%）で5割近くと高くなっている。「商店街」は蒲田地域（39.6%）で4割と高くなっている。「飲食店」は調布地域（32.2%）で3割を超えて高くなっている。

(図11-2-3)

(3) 外国人が増えていると感じる駅周辺及び観光スポットの具体的な場所

◇「蒲田駅」が最も多い

(問18-1で、「駅周辺」「観光スポット(寺社、公園、銭湯等)」と回答した方に)
問18-2 具体的な場所はどこですか。

大田区を訪れる外国人が増えていると感じる場所として「駅周辺」、「観光スポット(寺社、公園、銭湯等)」と答えた人(354人)に、そう感じる具体的な場所を自由記述形式で聞いたところ、273人から349件の回答があった。

回答内容をまとめた結果は以下のとおりである。

回答内容	件数
蒲田駅	98件
蒲田駅の周辺	44
公共交通機関(電車・バスの車内、駅のホーム、バス停留所など)	31
大森駅	18
池上本門寺	14
羽田空港構内	14
通りすがりの道路上	13
大型店舗	11
商店街	10
スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど	8
宿泊施設	8
飲食店	8
公園	7
大森駅の周辺	6
穴守稻荷駅	5
寺社	5
自宅周辺の身近な場所	5
大鳥居駅	4
大岡山駅	4
雑色駅	3
久が原駅	3
西馬込駅	3
住宅街	3
池上駅	2
職場やボランティア活動での関わり	2
銭湯	2
その他	18

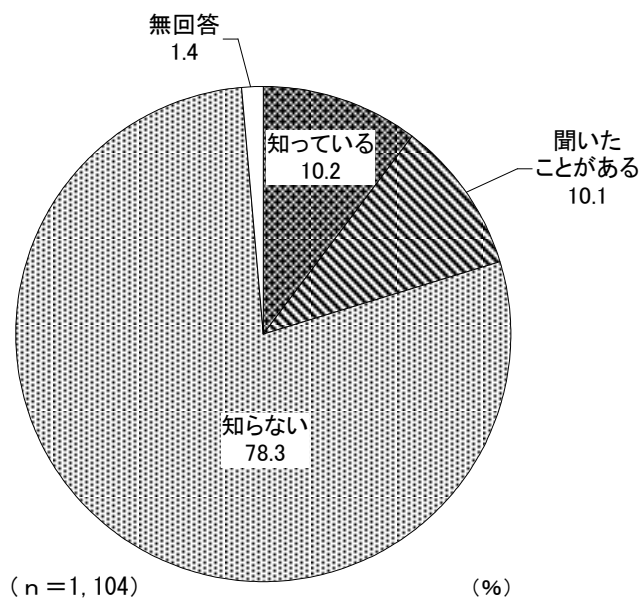
(4) 「大田区観光情報センター」の認知度

◇「知っている」は1割

問19 「大田区観光情報センター」をご存知ですか。(○は1つだけ)

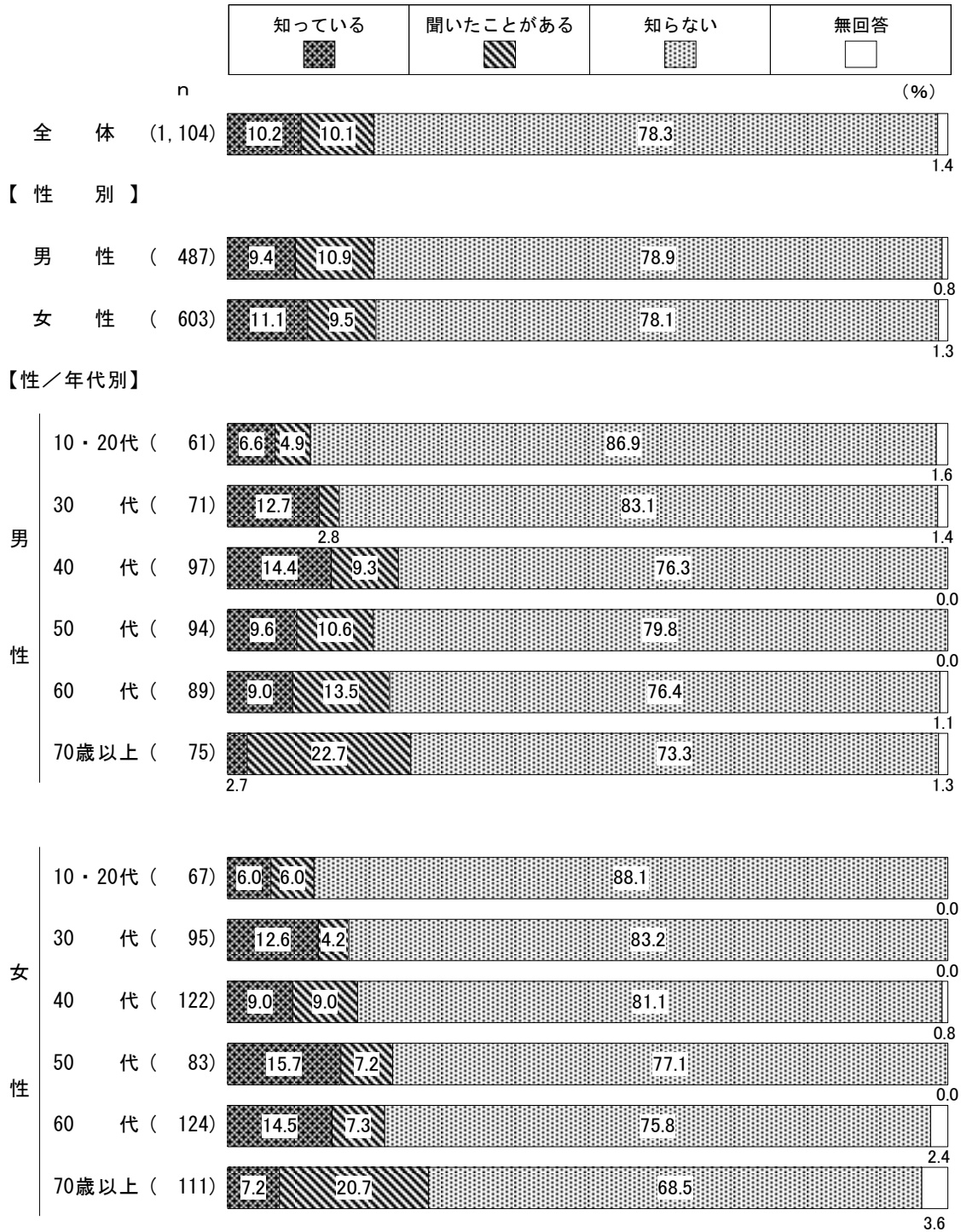
※平成27年12月に、京急蒲田駅直結の施設にオープン。英語・中国語に対応できるスタッフがあり、区内・近隣観光地の観光案内のほか、工芸品・地元で評判のスイーツ等の販売、日本の伝統文化体験講座などを実施している。

図11-4-1



「大田区観光情報センター」を知っているか聞いたところ、「知っている」(10.2%)と「聞いたことがある」(10.1%)はともに1割となっている。一方、「知らない」(78.3%)は8割近くと高くなっている。(図11-4-1)

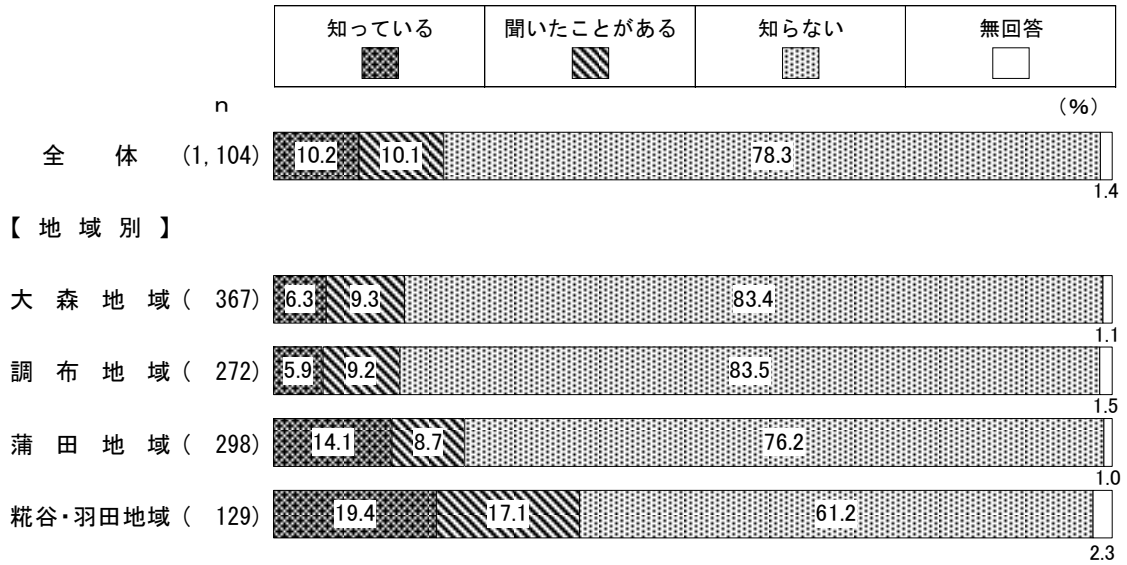
図11-4-2 「大田区観光情報センター」の認知度－性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、「知っている」は男性40代(14.4%)と女性50代(15.7%)、女性60代(14.5%)で1割半ばとなっている。一方、「知らない」は男性10・20代(86.9%)と女性10・20代(88.1%)で9割近くと高くなっている。(図11-4-2)

図11-4-3 「大田区観光情報センター」の認知度—地域別



地域別でみると、「知っている」は糎谷・羽田地域（19.4%）で約2割となっており、「聞いたことがある」は糎谷・羽田地域（17.1%）で2割近くとなっている。一方、「知らない」は調布地域（83.5%）と大森地域（83.4%）で8割を超えて高くなっている。（図11-4-3）

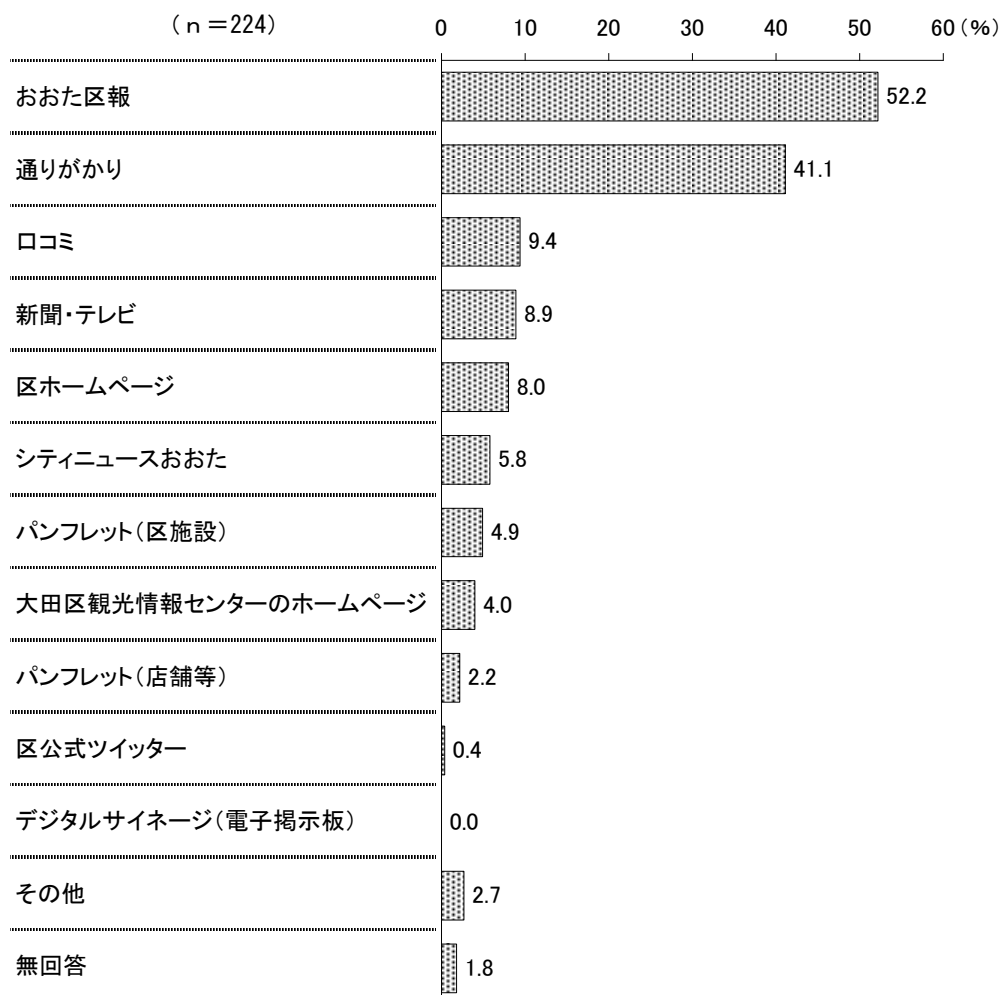
(5) 「大田区観光情報センター」を知ったきっかけ

◇ 「おおた区報」が5割を超える

(問19で、「知っている」「聞いたことがある」と回答した方に)

問19-1 何を通じて知り(聞き)ましたか。(〇はいくつでも)

図11-5-1

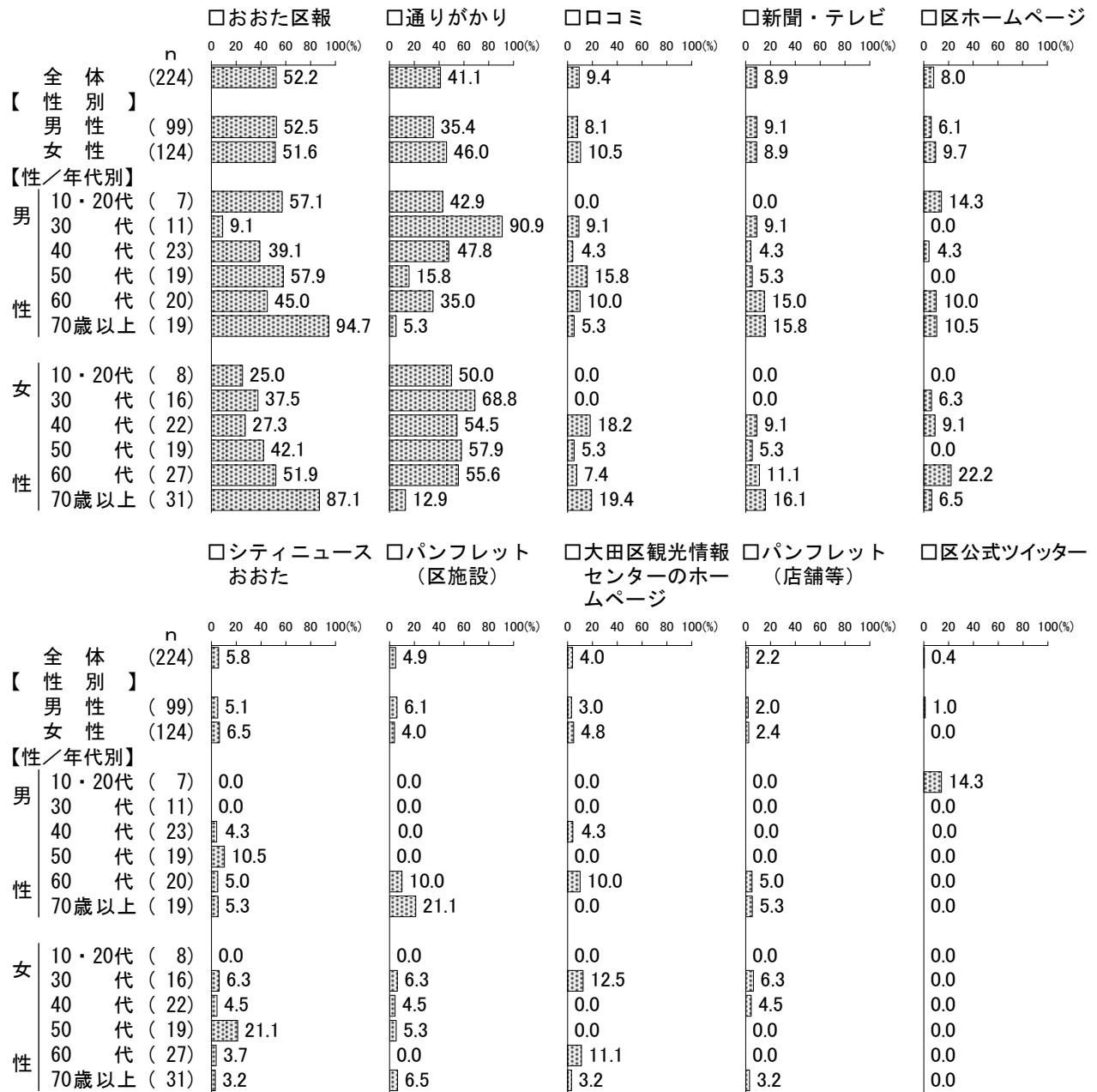


「大田区観光情報センター」を「知っている」、「聞いたことがある」と答えた人(224人)に、知ったきっかけを聞いたところ、「おおた区報」(52.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「通りがかり」(41.1%)、「口コミ」(9.4%)、「新聞・テレビ」(8.9%)、「区ホームページ」(8.0%)などの順となっている。

「その他」への回答として、「駅や電車内の広告」、「仕事上の関わり」などがあげられている。

(図11-5-1)

図11-5-2 「大田区観光情報センター」を知ったきっかけ-性/年代別



性別で見ると、「通りがかり」は女性（46.0%）が男性（35.4%）より10.6ポイント高くなっている。

性/年代別で見ると、「おおた区報」は男性70歳以上（94.7%）で9割半ば、女性70歳以上（87.1%）で9割近くと高くなっている。「通りがかり」は男性30代（90.9%）で約9割と高くなっている。

(図11-5-2)